

歯医者で働く私の、『マウスピース矯正生活』

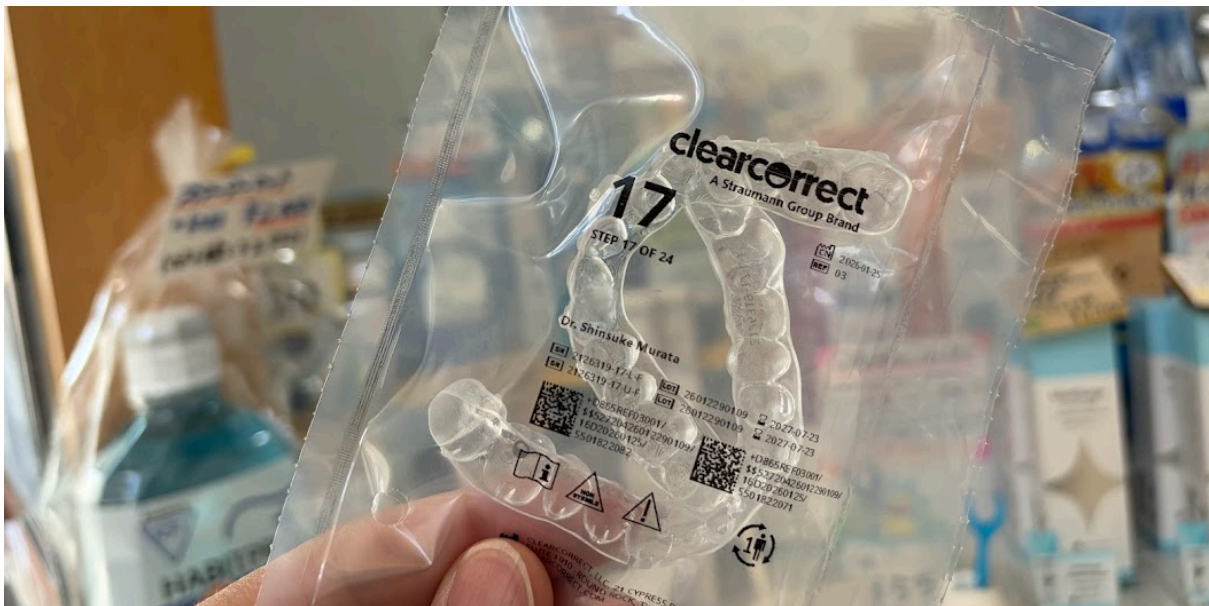
～事務長が患者になって気づいたこと～（アライナー17 / 36）

待望のイベント

マウスピース5枚目の時にスマホのリマインダーにセットしておいた、
待ちに待った日。



スマホの通知画面には「17枚目の交換、IPR（歯と歯の間を削る処置）予定」の文字が
光ります。



この約5ヶ月間、10日おきの交換以外は日常のドタバタ劇くらいしかイベントがありませんでした。それに、シミュレーション的にはこれからいよいよ「前歯」が動いていく計画。期待も自然と膨らみます。

意気揚々と先生の手の空いたスキを狙って、「17枚目のIPR、お願いします🙏」と直訴。

IPRをする予定も最初の段階でしっかり最後まで決まっているようで、これからも何度かIPRがちょくちょく発生する計画らしい。



自分の歯の形

マウスピース生活を始めて気づいたことがあります。

それは、マウスピースを洗浄したり扱ったりする時に、マウスピース自体そのものであり「自分の歯列を360°客観的に見る機会」がたくさんあるということ。

普段の生活で、食事や歯磨きをしているだけでは全く気が付いていませんでしたが、なんだか「右奥の歯」が水平ではなく明らかにせり上がっている。



当然、前歯の方が「見た目」としての要素が強いので、これまでは

「歯並びの悪さ＝前歯」

ばかりに目がいていましたが、この機会に自分の奥歯の並びを知るようになりました。

そのせいか、マウスピースを装着していると、せり上がっている右側が構造上外れやすく、舌で触って押し上げたりしていると「カポッ」と外れることも。

それがちょっと癖になってしまったり。

不便とかは全く思わないですが、マウスピースという「歯の型」として見ないことには、客観的に見る機会もなかっただろうな、と。

「ふーん、なるほどね」くらいの小さな発見ですが、なんだか面白いもの。

この調子で仕事も右肩上がりに！なんて強引なポジティブ転換。

新幹線ストップ！不測の事態

一転、出張中に思わぬトラブルに直面しました。

朝方の地震による影響により新幹線の運行停止で、完全に足止めを食らいました。

朝9時に駅へ着き、大混雑の隅で大衆の相談の声を聞いて待つ。

駅員アナウンスによると13時頃運行の見込み、と。

仕方なく駅構内のカフェで時間を過ごそうと、昼食セットを食べ終えて...

「あっ...歯磨きできない」

駅の洗面所はあるけど...

そんな人見たことない。



本来は昼食前には新幹線を降りて目的地に着いている予定だったため、想定外のことは全く考えていませんでした。

歯磨きできないのは「しゃあなし」とそのままマウスピースをそっと付け直し、4時間待って運行復旧した新幹線に乗り、満員の客席に揺られながら、予定より6時間遅れて函館に着いた、ある日の長い1日。

本日の反省会 🙄

「不衛生な状態での装着を容認する」ことは望ましくありません。

外出先で、本文のように不測の事態に遭遇した際は、「せめてお水で口の中とマウスピースをゆすぐ」ことを守り、装着時間を優先しましょう。

そして、帰宅後やホテル到着後に、丁寧にブラッシングとマウスピースの洗浄を行えば大丈夫です。

このような場合にも備え、

携帯用のマウスウォッシュをカバンに忍ばせておくのがオススメです。

